



横大路
田園まちづくり

横大路 まちづくりニュース

第3号

わがまち再発見

横大路 「まちあるき」 をおこないました

11月30日（日）、第2回まちづくり協議会を開催し、田園まちづくりを考えるための、「まちあるき」をおこないました。

協議会17人、市役所開発審査課職員2人、アドバイザー1人が参加しました。さらに今回は市の教育委員会から学芸員をお招きし、横大路の歴史文化解説をして頂きました。

役員以外も含め多数ご参加頂いたので、2班に分かれて歩きました。普段見慣れたわがまちですが、一緒に話をし確認しながら1時間ほどかけて回りました。

その後、公会堂に戻り、

- 横大路の良い所
- 将来に伝えたいこと
- 子どもの頃の思い出
- 困った所や問題点
- 横大路らしい風景… などなど

について意見交換を行いました。

横大路の「今」を点検した内容を「横大路まちづくり夢マップ」としてとりまとめましたので、お知らせします。（裏面参照）

Q よく知っているのに、なぜ「まちあるき」？

A お住まいの方は自分のまちをよくご存じですね。でも、誰かと一緒に歩いたり、まして点検しながら歩くことは少ないのではないのでしょうか。

今回、まちづくり協議会では、まちの現状と一緒に見て一緒に考える「共有体験」のために、まちあるきを行い、気づいたことを意見交換しました。

また、学芸員やアドバイザーなど外部の人の視点を取り入れるのも重要な目的のひとつです。

【まちあるきの流れ】



まずは、公会堂で横大路の歴史文化を学習！



まちあるきに出発！まちの中を歩いて見て回ります



北回りと南回りの2班に分かれて、歴史文化資源や、美しい景観、逆に困った点や問題点などを点検します
（写真左：妙正寺、右：郷の口橋の碑）



公会堂にて、気づいたことを出し合い、話し合いました

次回のまちづくり協議会で、まちあるきの結果やアンケート結果を考え合わせて、まちづくりの将来方向について検討します。

横大路まちづくり夢マップ

(横大路の良い点、問題点等)

1 道路、交通に関すること

- ①町内の道路がどれも狭い。東西・南北のメインの道路でも狭いところがある。メインの道路ぐらいは円滑に通行できるよう広げたい。
- ②集落内は徐行運転を徹底すべき。
- ③かこタクシーがもう少し便利になれば(運行の時間帯や頻度)。

2 公園や広場に関すること

- ①町の西側にある公園は、グラウンドゴルフなどの利用もあり、やや手狭。もう少し広げたい。
- ②公園の遊具が傷んでおり危ない。器具の補修を。景観を大切にしたい。
- ③法華山谷川沿いや赤谷川沿いに遊歩道、散歩道を整備してはどうか。

3 生活環境に関すること

- ①町内で既に農地が住宅に囲まれてしまっている場所がある。宅地にした方が環境が良くなるのではないかな。
- ②町内に空地や空き家がある。一部集積している所がある(中心部人口が減るドーナツ化?)。旧家が荒れ放題になっている。近くに住んでいる人は時々管理に来るが、放置されているところもある。
- ③集落の中にもきれいな景色があることを知った。
- ④稲岡工業の跡地を町の発展のため計画したい。
- ⑤下水の整備が必要。
- ⑥妙正寺の裏の道で、地下水路(用水、稲岡工業の排水路)に空洞ができてしまっている。

4 農業に関すること

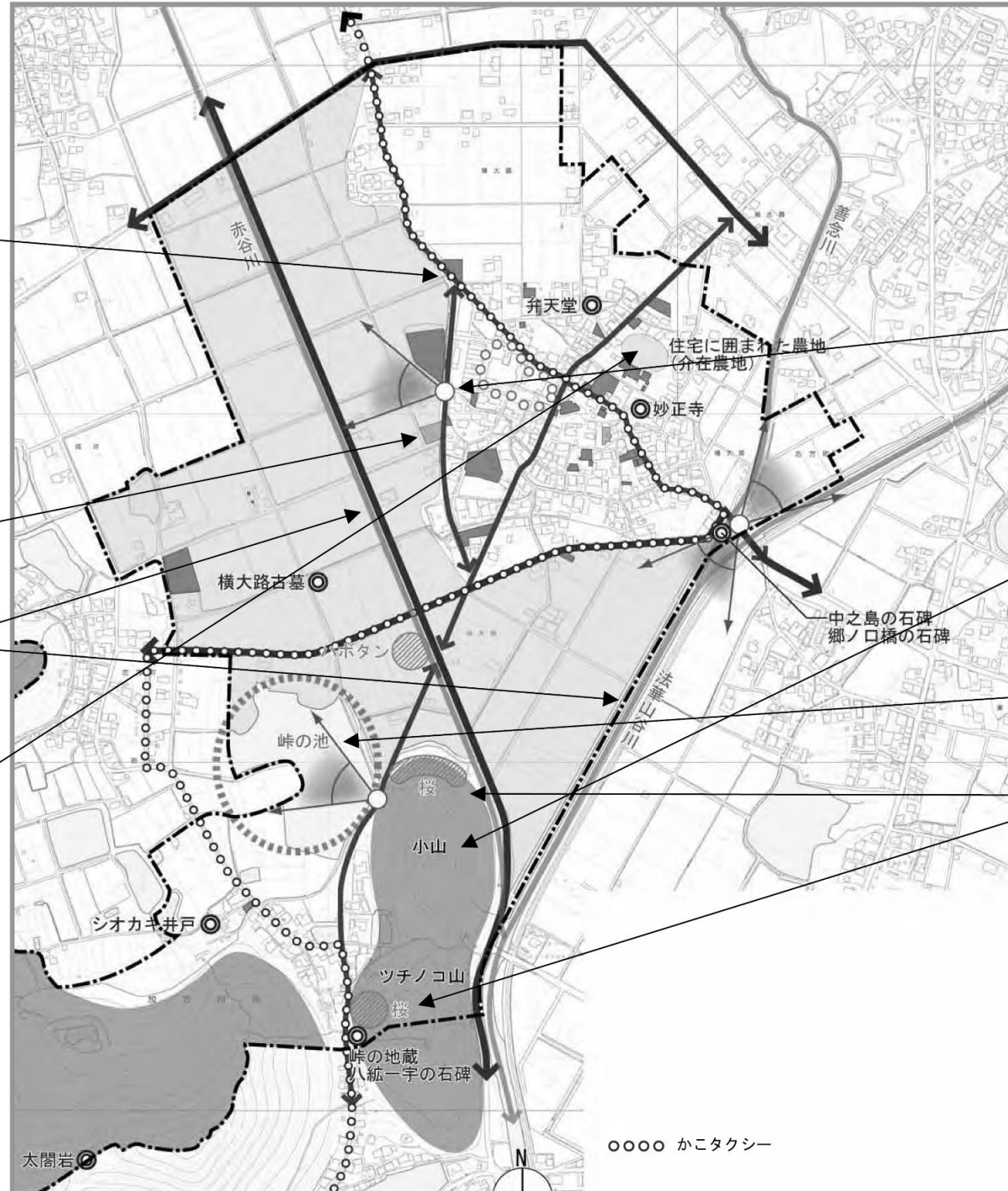
- ①米が主体。休耕田で野菜、ハボタン、ベニバナなどを栽培している。
- ②現在の農地面積を確保していきたい。
- ③今後は高齢化と後継者不足で農地管理が心配。
- ④昔はため池の池干しもしていた。池のそこさらいをして取れた魚を売って村のお金になった。本来は年に1回は池干しした方がよいのだが、今ではなかなかできない。

7 地域コミュニティに関すること

- ①公会堂の清掃を月1回実施している。もっと有効活用すべき。公会堂を改築してはどうか。
- ②高齢者の憩い、グラウンドゴルフのできる場所が欲しい。
- ③町の北側で住宅地開発があり、20軒あまりの転入世帯があった。住人が増える事はよいが、すぐに溶け込めるわけではなく、今後融和を図りたい。
- ④空き缶、ごみのポイ捨てを禁止したい。

(村の歳時記)

- 1月：正月祭(弁天神社)
- 2月：としこし(節分)
- 3月：地区の墓地の掃除(春彼岸)
- 4月：地蔵祭(4/23-24)
- 5月：下水掃除、水路草刈り
- 7月：子ども相撲大会
- 8月：盆踊り(8/14、公園にて)、地蔵祭(8/23-24)
- 9月：一斉清掃、地区の墓地の掃除(秋彼岸)
- 10月：秋祭り(八幡神社、子ども神輿が町内を巡行)
- 11月：一斉清掃
- 12月：大晦日(妙正寺で除夜の鐘つき)



注:「まちあるき」後に公会堂にて行った意見交換の内容を整理したものです。田園まちづくりの計画を示すものではありません。

5 自然に関すること

- ①高御位山から小高御位山、横大路山、西の山と連なる山並みの自然、景観は守りたい。見て楽しむ、登って楽しむもの。
- ②尾根づたいにメジャーな登山道があり遠方からもハイカーが来る。峠地区の方が「スカイラインコース」の表示板や、太閤岩の説明板などを設置している。小高御位山の頂上には祠がある。
- ③西山は小山、ツチノコ山と呼んでいる(地区の入会地)。キノコ採りなどにも行った。小山の中腹を周回する競馬場が開かれていた。
- ④峠の池などため池の自然、景観を守りたい。子どもの頃はため池や川で泳いでいた。ハスの実を取って食べて、たいへんおいしかった思い出がある。
- ⑤今は外来種が増えており生態系が心配される。釣り人のマナーが悪い。
- ⑥お墓と峠の地蔵あたりは桜が美しい。

6 歴史文化に関すること

- ①農地の中にある横大路古墓、妙正寺の石棺や陣太鼓、峠の地蔵、「八紘一宇」の石碑、シオカキ井戸(枯れない井戸)、郷ノ口橋の石碑、中之島の石碑などは、村の住民でも知らない人も多い。守り伝えたい。
- ②弁天神を祭る堂を守り伝えたい。昔は西に堀、東に池があり水の神にふさわしい環境だった。今も7/22のお祭りでは子ども相撲が行われる(土俵もある)。秋祭りにはここに幟(のぼり)を上げる。
- ③妙正寺(横大路の多くが檀家)の木仏や香良群陣太鼓は、由緒があるのに知らない人も多く、もったいない。
- ④峠の地蔵さんは、周囲に桜もあって景色の良い場所。竜山石でできた地蔵で、明治38年に西側旧道にあったものを移した。
- ⑤八紘一宇の石碑は、出征する兵士を見送った場所。
- ⑥横大路古墓は私有地にあるが、今後も残したい。
- ⑦大内家の歴史を学ぶ、古文書を拝見するなどしたい(せつかく直系の家があるのだから)。
- ⑧昔からの屋号(髪結い屋、たばこ屋...など)が残っているので調べて記録しておくのがよい。

横大路のいろいろ 再発見！



※「まちあるき」で歩いて見てみた、横大路のいろいろを紹介します。



高御位山と小高御位山
堂々とした山容が美しい



峠の池 貴重な自然環境
昔遊んだ思い出とともに残したい



川の自然環境と眺望
(法華山谷川)



広がりある農地と田園風景
季節を感じさせるハボタン栽培



妙正寺はまちの歴史を継承する
村のシンボル



桜の美しい峠のお地藏様
そばに八紘一宇の碑もある



まちの中の主要道路だがやや狭い
なだらかな曲線、庭木、建物が調和
した景観となっている



まちの中の狭い路地
石垣や庭木が路地の趣を生み出す



公園 グラウンドゴルフ、遊び場、
盆踊りなど様々に使われる
遊具が傷んできています



明治期に建てられた公会堂
町内会活動の中心



煙突のある風景 まちの歴史



新規開発の住宅地 新たに人が入る
ことでまちの活力につながる

お問
い
合
わ
せ

◆まちづくり協議会に関することは…
まちづくり協議会会長 () まで
(電話: ())

◆田園まちづくり制度に関することは…
加古川市役所開発審査課 () まで
(電話: ())